

越知町 横倉山の妖精
よこじろー

と考える

これからの「木育」のこと

「木育（もくいく）」とは、日本で生まれ、特に北海道から広まった教育の考え方です。その基本にあるのは「木とふれあい、木から学び、木とともに生きる」という思いです。子どものころから木を身近に感じ、使う経験を通して、人と木や森との関わりについて自分で考えられる豊かな心を育てることを目的としています。

これからの「木育」や「森の活用」、そして木や森を通じた人と人とのつながりについて、みなさんも一緒に少し考えてみませんか？

暮らしと木育
越知町
ならではの！

木育の特徴

五感を
使った
体験年齢を
問わない地域性
の尊重教育と
福祉
の融合SDGs
との
親和性

1. 越知町と木育 これまでの歩み

越知町（おちちょう）は、2016年に四国で初めて「ウッドスタート宣言」を行い、「木育（もくいく）のまち」として、地域に根ざした活動を続けています。

町では、「木とともに暮らすまちづくり」を目指し、木のぬくもりを日々の生活や子育てに取り入れながら、子どもたちの成長を見守るさまざまな取り組みを行っています。木を通して、親子が笑顔でふれあい、ずっと住み続けたいくなる町を目指しています。



取り組み

概要

早期
接触

2016年「ウッドスタート宣言」

子どもが産まれた家庭に、木のおもちゃプレゼント！

四国初の自治体として宣言を行い、子どもが産まれた家庭に木のおもちゃをプレゼントする試みを継続。乳幼児期から木に触れる「早期接触」の機会を創出。人材
育成

2017年「木育インストラクター講座」

木育をひろく普及していく人を育てる

地域で木育活動を担う人材の育成を目的とし、町内で木育インストラクター認定講座を開催。

地域
体験

2024年「ファーストスプーン木育講座」

世界にひとつ、わが子の人生初スプーンづくり

地元木材への愛着と木育への気づきを提供する参加型体験として、町産材の離乳食用スプーンづくり講座を実施。



2. これからの木育を考える ➡ 座学・ワークショップ開催

「木育（もくいく）」を通して、人と木、木と森、そして森とまちのつながり、そして“これからの未来”“住み続けたいまち”であり続けるために、この豊かな森林をどう活かしていくのか——

そのヒントを、「木育」から一緒に見つけましょう。

場所：保健福祉センター。お茶やお菓子も用意しています。お気軽にお申込み下さい。

お申し込み
お待ちしております！

日時	テーマ	詳細（仮）
10月30日（木） 19:00～21:00	これからの木育	座学：木育の概要、調査結果から見た木育 WS：これからの木育
11月20日（木） 19:00～21:00	森のようちえん	座学：森で育つ子ども、森づくりの実際 WS：子育て・教育と森づくり
12月10日（水） 19:00～21:00	森・木を活かした観光～繋がり	座学：観光から移住定住まで、観光トレンド WS：観光の可能性

申込方法

越知町建設課（田野下）

または

木育ワークショップ事務局

（株式会社 相愛 内 大下）

☎：088-846-6703

✉：s.oshita@soai-net.co.jp

